

佑啓

ゆ う け い

発行 者

社会福祉法人 佑啓会

理事長 里見 吉英

〒290-0265

千葉県市原市今富 1110-1

TEL 0436-36-7611

FAX 0436-36-7612

編集者 広報委員会

皆様のお陰です

在原 寿

「♪静かな静かな里の秋

お背戸に木の葉の落ちる夜は
ああ母さんとただ二人

栗の実煮てますいろり端々♪」

40歳になる私が、両親、妻、
子供達、親戚、総勢70名で「里の秋」を合唱している。何故かこ
いうと、昨年ばあちゃん100歳になったので、百寿のお祝いを
しようということになりました。当日はホテルで行われ、家族、親
戚一同での記念撮影もあり、まるで結婚披露宴のようでした。ちな
みにばあちゃん子供8人、孫20人、曾孫が35人います。(玄孫
はもうすぐかもしれません)普段のばあちゃんの暮らしはというと、
80歳の長男(私にとって叔父にあたる)に食事を作ったり、野
菜作りや庭の草むしりをしています。耳は遠く、前が見えないので
はないかと心配するくらい、腰も曲がっていますが、とても元気で
いつもニコニコ

佑啓

を

や

さ

し

て

お

き

な

あ

ち

ゃ

ん

と

年

金

が

な

っ

て

も

、

子

供

を

心

配

す

る

気

持

ち

な

っ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

も

、

子

は

い

つ

ま

で

た

つ

て

も

、

何

歳

に

な

ら

う

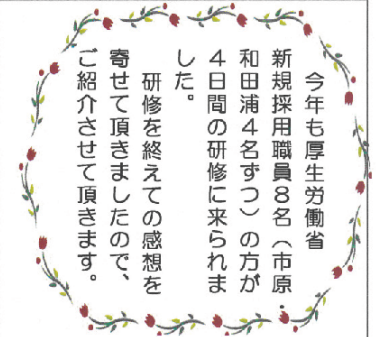
も

、

子

は

い



今年も厚生労働省
新規採用職員8名(市原
和田浦4名ずつ)の方が
4日間の研修に來られま
した。

研修を終えての感想を
寄せて頂きましたので、
ご紹介させて頂きます。

私は今春、医学部を卒業後医
師としての勤務を経た後、厚生
労働省へ入省いたしました。

医学生生の頃より見聞を深める
ために様々な経験をさせて頂き
福祉先進国と言われている北欧
フィンランドの障害者福祉施設
にも伺わせて頂く機会もありま
した。私が訪問したその施設は
非常に明るく開放的であり、障
害を持った方々が尊厳を保ちつ
つ自立した生活を送
られていました。



国内の様々な社会福祉施設を
見学させて頂いたり、実習させ
て頂いたりしたことありまし

たが、利用者や職員の方々すべ
てが笑顔でいきいきと過ごされ
ている施設とめぐり合うことが
出来たのは今回が初めてでした。



私が今回訪問させて頂いた佑
啓会の各施設は、決して北欧の
施設に劣ることのない、国内最
高水準の素晴らしい施設である
と考えております。今回の実習
を契機に強く感じたことは、障
害者福祉を充実させるために、
佑啓会各施設の水準及び「社会
福祉は営利を追求すべきもので
はなく、愛情を持って利用者や
職員の方々と共に、あらゆる立
場の方々が健康を保ち幸福を追
求するために行う」という理念
を、日本各地で広めていくこと
が大切なのではないかというこ
とです。

私は今後行政官として、日本
国の未来を見据え、尊厳を保ち
つつ誰しもが笑顔で幸福を享受
出来る様な国づくりを進めてい
きたいと考えております。今回
の実習で得ることが出来た様々
な経験を今後に生かしていきたい
と思います。この度は私達を
快く受入れてくださり、ありが
とうございました。深く御礼申
し上げます。

新田 惇一

世界不思議発見！ 「エジプト漫遊記」

宮崎 理

今年の4月1日。辞令交付式で支
援主任として辞令を頂いた。法人全
体180名の前で名前を呼ばれ、職責
の重みにプレッシャーを感じていた。そ
こでふと、あのエジプトでの8日間が
蘇る。ナイル川の偉大さや、語りかけ
てくる多くの遺跡の事を...

あれは1年前の4月1日のこと。辞
令交付式で自分と伊東支援員が突然
名前を呼ばれ、15年間の永年勤続
を表彰された。「海外でも何処でも、
自分の好きなところに出掛けて、見聞
を広めてきてください」と理事長から
一言。法人全体160名の職員が目
の当たりにした、驚きの出来事。特に一
番前に座っていた初出勤の新任職員
の多くは、目を丸くして口を開けてい
た。たぶん、自分もその時は同じ顔だ
つたに違いない。

突然のご褒美に早速2人は浮かれ
気分が晴れ合う。ほどなく、行き先は
エジプト、時期は6月から7月にしよ
うと決めた。しかし、私たちの前に難
敵が。いざ旅行会社と契約という
時分に流行りだした新型インフルエン
ザ。海外から戻ってくる飛行機の中は、
未知なるウイルスに対し、完全防備で
検疫を行っている映画のような映像
がテレビから再三伝わってくる。「今
年は無理だ。」と意気消沈...。時は
過ぎ、ウイルスも弱毒性と分かり、世
間が落ち着き始めた頃には、すでに秋。
そして、2人はすっかり諦めムード。エ
ジプトの「エ」の字も口に出すことはな
くならなかった。

そんなある時、「場所は決めたか？
何時になったら行くんだ」と理事長。
「行ってもいいんですか？」と思わず口
に出してしまった。今しかない！と、早
急に旅行プランを練り直す。現実を
帯びてきた頃、他の職員から「おまえ
ら2人で大丈夫か？」と再三言われる
ようになった。お互い36歳。男2人つ
きりの8日間のエジプト旅行...。案
じさばかり考えていたが、繰り返し心
配され、次第に不安が募ってきた。2
人で考え抜いた結果、理事長に共に
行って頂く事を願ひ出した。日程を調
整して頂き、師走の忙しい中、やっと
の思いで、8日間のエジプト3人旅がス
タートした。

初観光は、エジプトの象徴的建造
物「ギザの3大ピラミッド」である。世
界最大のパワースポッ
トを拝むにあたりリメ
ージは膨らむ。「何
時間もかけて車で砂漠
を突き抜け、塵埃様の
先に見える3連のピラ
ミッド！」「過酷な旅だ
と勝手に想像していた
が、初対面は想像をは
るかに超える出会いであつた。朝食を
終え、観光バスでカイロの市街地を走
ること15分。そこはピラミッドの真下
？気温も低く日本で着ていたジャンパ
ーを身にまとい、バスから降りる。街
の隅に位置する突然の世界遺産は、
様々な角度から期待を裏切り続けた。
その横にはスフィンクスが堂々と鎮座
しているが、まだまだ裏切りは続く...。
スフィンクスが数千年見続けている方
向。昔はナポレオンを目の前にしたと
いう説もあるが、現在は、徒歩3分の
距離にあるケンタッキーフライドチキ
ンを眺める平和慣れたスフィンクス
の姿があつた。更に、日本人が通る度
に地元の人たちが、「サード・ナ・ガシ
ー！」「ヤ・マ・モ・ト・ヤ・マ！」等と何
度も大声で叫ばれる。当たり前のよ



うに観光地化された世界の名所は、
イメージしていた砂漠の真ん中とは
あまりにも、かけ離れたものであつた
。「行ってみないと分からない」と3人で
同じ感想。しかし、建物のスケールだ
けは裏切らなかつた。人間がなせる技
なのか、その偉大な建造物は300年間
で完成したというのだから、古代の王
の持つ権力の大きさが、現在の人物と
は比べ物にならないことが分かる。

ふと、カバンの中の携帯を手にする。
使えないと分かっているが、つい手にし
てしまふのは、携帯依存症なのか？会
話は出来ないが時計としてはしっかり
機能し、日本時間を正確に伝えてく
れた。「息子(当然女房も!)は何をし
ているかな」と家族のことを思うのと
同時に、「今日は、利用者さんが楽し
みにしていた忘年会の日だったな。あ
つ、時間的にはもう終わっているな。
職員の余興は盛り上がりつつあるな」
など、職場のことも頭によぎる。ピラミ
ッドの前で家族と忘年会のことを思う
なんだが不思議な感覚であつた。

その後も、様々な遺跡を見る度に、
スケールの大きさに圧倒された。「50
00年前の遺跡はありませんが、30
00年前の神殿が残
っていますので観光
しましょう」などと
話す現地のバスガイ
ド。気がつけば、最
終日には18枚の観
光名所の半券が、
思い出のチケットと
して残っていた。印
象深かつた場所は、ピラミッドと王家
の谷、カイロ博物館にあるツタンカー
メンの黄金仮面位である。しかし、そ
れ以外は、何を見ても同じ建造物に
見えてしまったことは今考えると惜し



い気がする...。
旅の食事は？というハト料理や地
元の中華料理等を食したが、やはり
日本の食事は一番である！と断言し
ながらも、我々2人の食欲は落ちるこ
とはなかつた。理事長は言うところ
「ヨーグルトとバナナのみを食事を終え
た時を何度か見かけた。少しお疲れ
気味の理事長...。一番美味しく、落
ち着いて食事ができたのは、遺跡を見
ながらのマクドナルド。これは3人同
じ意見であつた。

エジプトの8日間。カイロから始ま
り数々の遺跡を見てイスラムの世界
観を感じ、神々の話、死後の世界の奥
深さ等を知ることができた。旅の中
盤ではナイル川を大型客船で悠々と
移動し、停泊する先々で観光、そして
再び船のテラスでのんびり過ごす3日
間。最終日はカイロでも有数の高級
ホテルに宿泊し旅を締めくくった。

再び、今年の4月1日。一人心に誓
う。「後輩の小さなミスや、上司の小
言にイライラするのはよそう。何千年
もかけて作り上げた文明に比べれば、
そんなこと小さい、小さい。」ポジテ
ブな発想こそ、大陸気質の原点であ
る。

(ふる里学舎アネッサデザインセンター
支援主任)

編集後記

そろそろ衣替えかなと思っていた矢
先、冬が舞い戻ったような季節外れの
寒さ。アイスランドでは火山が噴火し、
「やはり自然には勝てない」と柄にも
無く実感。ただ、こんな時こそ心の温
かさは忘れたくないもので、まもなく
やって来るはずの爽やかな新緑の風と
共に佑啓七十二号をお届けします。

越川 直人